

諸情勢によりイベントの内容が変更あるいは中止となる場合がありますので、事前にホームページをご覧ください。各開催会場にお問い合わせください。

ホームページ : <https://www.kahaku.go.jp>

特別展「古代DNA—日本人のきた道—」
遺跡から発掘された古代の人々の骨に残るごく僅かなDNAを解析し、人類の足跡をたどる古代DNA研究。近年では技術の発展とともに飛躍的な進化を遂げ、ホモ・サピエンスの歩んできた道のりが従来想像されていたよりもはるかに複雑であったことが分かってきました。本展では、日本各地の古人骨や考古資料、高精細の古人頭骨CG映像などによって、最新の研究で見えてきた通がる日本人のきた道と、集団の歴史が語る未来へのメッセージを伝えます。

【会場】地球館特別展示室
【開催期間】2025年3月15日(土)～6月15日(日)
※会期等は変更となる場合がございます。
【料金】特別展料金が必要です。
【主催】国立科学博物館、NHK、NHKプロモーション、東京新聞

【公式サイト】<https://ancientdna2025.jp>
【お問合せ】ハローダイヤル050-5541-8600
※開館時間、休館日、入場料、入場方法等の詳細は決定次第、公式サイトでお知らせします。

企画展「自然教育園のカワセミ ～今も昔も売れっ子スター～」
カワセミはその美しさから私たちを魅了し、本種をモチーフとした絵画や俳句などの芸術作品も多く生み出されています。本展では、このカワセミについて、文化芸術など日本人とのかかわりという視点からご紹介します。

【会場】自然教育園 展示ホール
【開催期間】2025年1月11日(土)～2月24日(月・休)
【料金】入園料のみをご覧ください。
【主催】国立科学博物館附属自然教育園 株式会社 カンゼン

「つくば蘭展」
世界のランが大集合！世界有数の野生ラン保全施設・筑波実験植物園の「つくばコレクション」から、美しい花、珍しい花など、見ごろの200種類を公開します。さらに協力団体の力作の数々を、大温室のエキゾチックな雰囲気の中でお楽しみください。ランのおもしろさをめいっぱい体験できる楽しい展示でお迎えます。

【会場】筑波実験植物園
【開催期間】2025年3月16日(日)～3月23日(日)
【料金】入園料のみをご覧ください。
【主催】国立科学博物館筑波実験植物園

下町の、心にしみるおいしさがあります。

洋食黒船寺

TEL: 3837-1617
営業時間: 11:30～22:45
(ラストオーダー: 22:00 上野 ABAB 前 年中無休) ハッピーライス ¥1,470

上野公園前
あんみつみはし

上野本店 03-3831-0384
アトレ上野店・バルコヤ上野店・松坂屋上野店

科学のどひら65 新版 待望の名著パワーアップ復刊!

鳥はなぜ集まる?
群れの行動生態学

上田 恵介 著 (日本野鳥の会会長)
B6判 240ページ 定価1,980円

「観察」が「探究」に変わる1冊! 東京化学同人

気象業務150周年企画展「地球を測る」(仮称)
1875(明治8)年6月1日に東京気象台(現在の気象庁)が創立され、我が国の気象業務としての気象・地震観測が始まりました。本展では、さまざまな自然現象を観測する手法やその歴史、これまで蓄積されてきた観測データから地球環境の様子やその変化が明らかになり、また防災・減災にも大きく貢献していることを紹介します。

【会場】日本館1階企画展示室、中央ホール
【開催期間】2025年3月25日(火)～6月15日(日)※会期等は変更となる場合がございます。
【料金】常設展示入館料のみをご覧ください。
【主催】国立科学博物館

企画展「自然教育園の四季と生きものたち」
白金自然写真クラブの会員が園内で撮影した、四季の移り変わりと生きものの姿を美しい写真で紹介いたします。

【会場】自然教育園 展示ホール
【開催期間】2025年3月11日(土)～4月13日(日)
【料金】入園料のみをご覧ください。
【主催】国立科学博物館附属自然教育園
【共催】白金自然写真クラブ

「第41回植物画コンクール入選作品展」
植物画を描くことを通じて、植物のすかたを正しく観察し、植物をより深く理解することを目的として、植物画コンクールを開催しています。本作品展では、入選作品を展示紹介します。

【会場】筑波実験植物園 教育棟
【開催期間】2025年2月8日(土)～2月24日(月・休)
【料金】入園料のみをご覧ください。
【主催】国立科学博物館筑波実験植物園

第12回HITNETミニ企画展「金属の特長を引き出す(仮)ー日本の産業技術ー」
日本には産業技術の発達を伝える博物館がたくさんあります。産業技術史資料共通データベースHITNET(ヒットネット)に登録されている日本全国の博物館のうち「金属」に関連する4館と共催でミニ企画展をおこないます。金属に関する様々な情報をお楽しみください。

【会場】地球館2階
【開催期間】2025年3月4日(火)～4月13日(日)
【料金】常設展示入館料のみをご覧ください。

YouTube YouTubeかはくチャンネル 動画シリーズ「かはくのいろは」番外編を公開!

「かはくのいろは」新シリーズとして、全国の科学に関連した博物館を紹介していきます! 第2弾は、「岩手県立博物館」です。地質・考古・歴史・民俗・生物など、様々な分野の展示を見ることが出来ます! ぜひご覧ください!

全国博物館探訪!
【岩手県立博物館】
番外編「【出張】全国博物館探訪! 岩手県立博物館に行ってきました!」

◀これまでの動画視聴はこちらから
YouTube かはくチャンネル
<https://www.youtube.com/user/NMNSTOKYO>

ひそかな見学ポイント!

「三葉虫の生痕化石(這い跡、休み跡)」
地球館地下2階 4.海で起こった生物の爆発的進化

生痕化石は生物そのものではなく、生物が活動していた痕跡が地層に残されたものです。三葉虫は行動する際、複数の肢で海底の泥を掘り返すため、左右対称の細かいひっかき跡を残します。このひっかき跡に砂が入り込むことで生痕化石ができます。帯状の這い跡や半球状の休み跡などが知られています。三葉虫は古生代に大繁栄した節足動物の1群で、この時代の浅海を最初に「征服」した動物といえます。頭部に奇妙なツノやトゲをもつものなど形態的に実に多様ですが、これらの構造が三葉虫の生活にどのように機能したのかについてはいまだになぞが多くすべてが明らかになっていません。古生代の「海の王者」と呼ばれるほど繁栄した三葉虫ですが、2.5億年前に子孫を残すことなく絶滅しました。

かはくのモノ語りワゴン

はくはくのモノ語りワゴン プログラム一覧
実施期間:2024/12/17(火)～2025/3/16(日)

日本館 3F 常設	コケ?きのこ? そうか! 地衣類だ!	地球館 3F 常設	だます卵と 見破る目
日本館 3F 常設	フタバスキリュウのはなし	地球館 2F 常設	ファデーの大発見!
日本館 2F 常設	押葉のススメ	地球館 1F 常設	水の中を だだよ宝石
日本館 2F 常設	骨からわかること	地球館 31F 常設	鳥は恐竜そのものだ! ～後ろあし編～
日本館 1F 常設	星空を回す 天球儀	地球館 22F 常設	花カンブリア時代の 化石群
		地球館 23F 常設	隕石からわかること

※都合により実施しないプログラムがあります。

普段はなかなか触れることができない化石や標本など展示に関連した「モノ」を通じて、展示の理解を深めるポイントを紹介いたします。

開館日: 10:00、11:00、13:00、14:00から30分間実施、各展示フロアにお越しください(1回5分程度)。

★当日の実施プログラムは館内掲示にてご確認ください。

マンスリーサポーター募集開始!

昨年のクラウドファンディングに多くの賛同のお声をお寄せいただいたことを受け、2024年4月1日より、当館のマンスリーサポーターの募集を開始いたしました。科博にある500万点の「地球の宝」を守りつづける仲間、皆さまも加わりませんか? 研究者インタビューやスペシャルエッセイ等、オンラインで楽しめる返礼を多数ご用意しております。

<https://readyfor.jp/projects/kahaku-supporter>

博物館活動をご支援ください! (賛助会員募集中)

●青少年の自然科学への興味・関心の向上 ●地域博物館等と連携 ●標本・資料の製作、購入、保存、修復に会費を活用しています。詳しくはホームページ「賛助会員入会のご案内」をご覧ください。
<https://www.kahaku.go.jp/about/donation/patronage/>
お問合先: 独立行政法人国立科学博物館 賛助会担当 TEL : 03-3822-0111(月～金) メールアドレス: saniyo@kahaku.go.jp

友の会・リピーターズパス・みどりのパス各会員募集中!

国立科学博物館との結びつきを深め、自然科学をより楽しんでいただくための会です。特典、会費及び入会のお申し込み方法等は、日本館地下1階友の会カウンターにお問い合わせください。詳細は当館HPをご確認ください。 TEL : 03-5814-9859(休館日を除く)
<https://www.kahaku.go.jp/userguide/repeater/index.html>

おうちで体験! かはくVR

ご自宅でも国立科学博物館のコンテンツをお楽しみいただけるよう、当館の展示室や外観を高画質の画像で撮影し、3Dビュー+VR映像で公開しています。まるで国立科学博物館の中にいるように、自宅にいながら展示を鑑賞することができます。

※VR映像としての鑑賞には専用ゴーグルもしくはメガネが必要ですが、3Dビュー映像はPCやスマートフォンでお楽しみいただけます。

おうちで体験! かはくVRはこちら

マンスリーサポーター募集

詳細はこちら

milsil 自然と科学の情報誌 [ミルシル]

ミュージアムショップで発売中! 定期購読も受け付けています。Amazonでは、電子書籍も販売しています。

科博メールマガジン配信中!

「科博」の旬の情報や研究者のエッセイ、展示物やイベントの紹介など楽しく興味深い情報を電子メールでお届けします。登録は無料。配信は毎月、第2、第4木曜日午後です。登録方法: ホームページの登録フォームからご登録ください。
<https://www.kahaku.go.jp/userguide/maimagazine/index.html>

国立科学博物館 基本情報

<p>【上野本館】 所在地: 台東区上野公園7-20 常設展示: 一般・大学生630円(510円) ()内は20名以上の団体 高校生以下および65歳以上は無料 開館時間: 9:00～17:00(入館は16:30まで) 休 館 日: 毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌火曜日) (月曜日が祝日の場合は翌火曜日)</p> <p>※2月17日(月)、3月31日(月)は臨時開館日です。 ※最新情報はホームページをご確認ください。</p>	<p>【自然教育園】 所在地: 港区白金台5-21-5 入 園 料: 一般・大学生320円 高校生以下および65歳以上は無料 開館時間: 9月1日～3月31日 9:00～16:30(入園は16:00まで) 休 園 日: 毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌火曜日) 祝日の翌日 (ただし、土・日の場合は開園)</p> <p>※3月31日(月)は臨時開園日です。 ※最新情報はホームページをご確認ください。</p>	<p>【筑波実験植物園】 所在地: つくば市天久保4-1-1 入 園 料: 一般・大学生320円(250円) ()内は20名以上の団体 高校生以下および65歳以上は無料 開館時間: 9:00～16:30(入園は16:00まで) 休 園 日: 毎週月曜日(祝日・休日の場合は開園) 祝日・休日の翌日(土曜・日曜日の場合は開園)</p> <p>※2月10日(月)、3月17日(月)、3月21日(金)は臨時開園日です。 ※最新情報はホームページをご確認ください。</p>
---	--	---

国立科学博物館のホームページは → <https://www.kahaku.go.jp>

五野精養軒
創業 明治5年
営業日・営業時間はお問合せ下さい

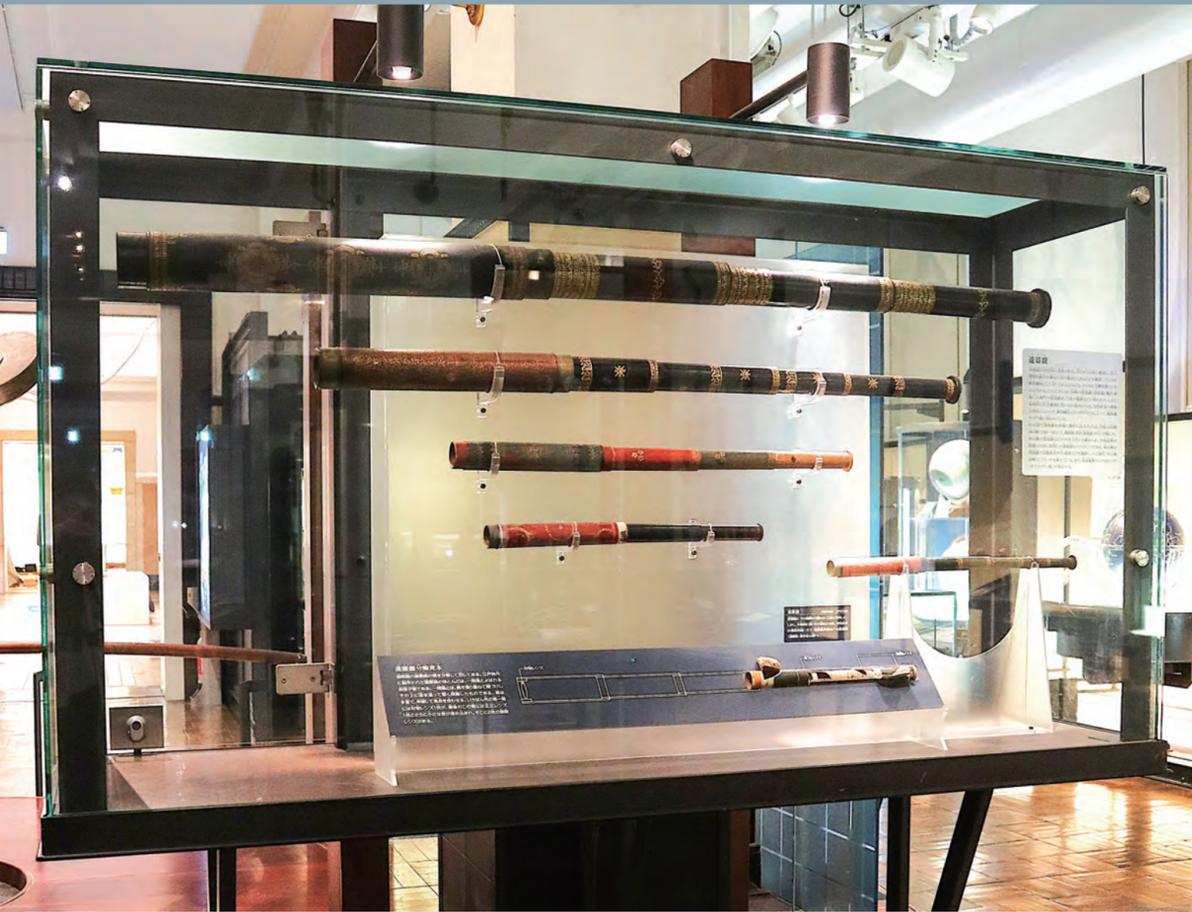
レストラン&カフェのご紹介

<p>国立科学博物館内</p> <p>地球館2階 TEL 03-3827-2080 レストランムセイオン 日本館地下1階 TEL 03-3827-4151 くじらカフェ</p>	<p>上野精養軒本店</p> <p>メインダイニンググリル フクシマ TEL 03-3821-2181 00</p>	<p>東京都美術館内</p> <p>・レストラン サロン ・カジュアルレストラン ミューズ ・カフェ カフェアート</p>	<p>東京文化会館内</p> <p>・レストランフォレストイーク ・カフェ café HIBIKI</p>
--	--	---	---

2025年1月 発行: 独立行政法人国立科学博物館

kahaku event 2-3月号

国立科学博物館イベント情報 February 2025



特別展「鳥 ～ゲノム解析が解き明かす新しい鳥類の系統～」

生態系において重要な位置を占める鳥類。科博初の鳥類をテーマとした特別展「鳥」では、鳥の起源とその進化の過程を紹介し、さらに、ゲノム解析による最新研究で解き明かされた進化系統仮説にもとづき、貴重な鳥標本を数多く展示します。鳥がつかう言葉や雌雄の関係など、23のテーマで「鳥のひみつ」も詳しく解説します。

【会場】地球館特別展示室
【開催期間】2024(令和6)年11月2日(土)～2025(令和7)年2月24日(月・休) ※会期等は変更となる場合がございます。
【料金】特別展料金が必要です。
【主催】国立科学博物館、日本経済新聞社、BSテレビ東京

【公式サイト】<https://toriten.exhn.jp/>
【お問合せ】ハローダイヤル050-5541-8600
※開館時間、休館日、入場料、入場方法等の詳細は公式サイトをご覧ください。

※常設展示の開館時間等については、裏面基本情報をご参照ください。特別展の入場料金の詳細についてはホームページ等でご確認ください。

企画展「貝類展：人はなぜ貝に魅せられるのか」

貝類は、多くの貝家に示されるように先史時代から人類の生活を支えてきました。そして、現代においてもなおさまざまな形で人々の生活や文化を彩り続けています。それは無脊椎動物の1グループである貝類の生物学的な特性や多様性と関係しています。本展をきっかけに、奥深いシエル・ワールドに足を踏み入れてみませんか?

【会場】日本館1階企画展示室、中央ホール
【開催期間】2024(令和6)年11月26日(火)～2025(令和7)年3月2日(日) ※会期等は変更となる場合がございます。
【料金】常設展示入館料のみをご覧ください。
【主催】国立科学博物館

Calendar grid showing dates from Feb 1 to Mar 31 with day names and event markers.

Timeline of events with colored bars and text descriptions for various exhibitions and programs.

2月と3月に行われる展示やイベントについてお知らせします。

重要なお知らせ: 諸情勢により、イベントの内容が変更あるいは中止となる場合があります。事前にホームページをご覧ください。

ホームページ: https://www.kahaku.go.jp

天文に興味がある方はこちらの講座はいかが？

夜の天体観望公開

1 上野本館：夜の天体観望公開
日時：2/7(金) 18:30~20:00(晴天時)
会場：上野本館
講師：理工学研究所 洞口 俊博
定員(対象)：70名(どなたでも)
申込：WEBにて1/7(火)から1/19(日)まで受付。

2 上野本館：夜の天体観望公開

日時：3/7(金) 18:30~20:00(晴天時)
会場：上野本館
講師：理工学研究所 洞口 俊博
定員(対象)：70名(どなたでも)
申込：WEBにて2/3(月)から2/16(日)まで受付。

WEBによるお申し込み

当館HP(ホームページ)内の各イベント申込フォームに必要事項を記入の上、お申し込みください。

夜の天体観望公開(筑波)

3 筑波：夜の天体観望公開

50cmの反射望遠鏡で季節の天体を観望します。
日時：2/14(金) 18:15~19:45(晴天時)
会場：筑波実験植物園
講師：理工学研究所 洞口 俊博
定員(対象)：40名(どなたでも)
申込：WEBにて1/10(金)12:00から受付。

4 筑波：夜の天体観望公開

50cmの反射望遠鏡で季節の天体を観望します。
日時：3/14(金) 18:15~19:45(晴天時)
会場：筑波実験植物園
講師：理工学研究所 洞口 俊博
定員(対象)：40名(どなたでも)
申込：WEBにて2/14(金)12:00から受付。

天文学普及講演会

5 ハッブル宇宙望遠鏡は何を見つけたか？

美しい銀河の世界
日時：2/15(土)14:00~15:30
会場：上野本館(日本館2階講堂)
講師：放送大学 谷口 義明
定員(対象)：75名(高校生以上)
申込：不要。当日ご参加ください。

6 天文ニュース解説

日時：2/14(金) 18:15~19:45(晴天時)
会場：筑波実験植物園
講師：理工学研究所 洞口 俊博
定員(対象)：40名(どなたでも)
申込：WEBにて1/10(金)12:00から受付。

高校生のための化学実験講座

8 周期的に色が変化する化学反応

周期的に色の変化を繰り返す振動反応(BZ反応)の実験を通して、化学反応の不思議さについて考えてみましょう。
日時：3/22(土)14:30~16:00
会場：上野本館(地球館3階実験実習室)
講師：理工学研究所 林 峻・米田 成一
定員(対象)：20名(高校生)
申込：WEBにて3/9(日)まで受付。

科学史講座

9 画像から読み解く科学史

科学者は自然をどのように観測し、視覚的に表現してきたのでしょうか。
日時：3/8(土)13:30~15:00
会場：上野本館(日本館2階講堂)
講師：東京大学 名誉教授 橋本 毅彦
理工学研究所 河野 洋人
定員(対象)：100名(どなたでも)
申込：不要。当日ご参加ください。

化学や物理の実験や講座はこちら

化学実験講座

7 突然色がつく反応の謎に迫る

一時計反応の化学
試薬を混ぜた直後には色がつかず、一定の時間が経ってからバツと色がつく不思議な反応があります。今回は、「時計反応」と呼ばれる化学反応の実験を行い、なぜこんなことが起こるのか考えます。
日時：2/8(土)14:30~16:00
会場：上野本館(地球館3階実験実習室)
講師：東京科学大学 平田 圭祐
理工学研究所 林 峻・米田 成一
定員(対象)：20名(大学生以上(抽選の際は現職の理科教員を優先))
申込：WEBにて1/26(日)まで受付。

自然についていろいろ聞いてみよう

自然史セミナー

10 古植物研究法講座

化石としては比較的一般的な植物化石について、野外での採集から保存にいたる一連の研究プロセスを習得します。
日時：3/23(日)10:00~15:00(野外実習)
3/24(月)10:00~16:00(実習)
3/25(火)10:00~16:00(実習)
3日連続で参加できる方が対象です。
会場：埼玉県深谷市明戸(野外)
筑波(筑波研究施設 総合研究棟8F 共通実験室)
講師：元上智大学・非常勤講師 大花 民子
地学研究所 矢部 淳
定員(対象)：10名(大学生・大学院生・教員・学芸員・司書)
申込：WEBにて2/28(金)まで受付。

館長スペシャルトーク

11 今年の特別展の紹介

今年春の特別展「古代DNA」と夏の「氷河期」の内容、見どころを紹介いたします。
日時：3/2(日)11:30~、14:30~
それぞれ45分程度(1日2回、同内容)
会場：上野本館(日本館2階講堂)
講師：国立科学博物館館長 篠田 謙一
定員(対象)：100名(どなたでも)
申込：WEBにて2/9(日)まで受付。

副館長スペシャルトーク

12 恐竜学：1994-2025

私たちの恐竜の認識がこの30年間でどのように変わったのか、振り返ってみよう。
日時：2/1(土)11:30~、14:30~
それぞれ45分程度(1日2回、同内容)
会場：上野本館(日本館2階講堂)
講師：国立科学博物館副館長 真鍋 真
定員(対象)：100名(どなたでも)
申込：WEBにて1/3(月・祝)まで受付。

筑波実験植物園で行うイベント

とことんセミナー

13 里山の四季「植物の冬越し」

筑波山近隣などで見られる身近な自然を解説し園内で観察します。
日時：2/23(日)10:00~12:00
会場：筑波実験植物園
講師：学習指導員 飯田 勝明・福田 良市
定員(対象)：20名(小学生以上)
申込：1か月前から029-851-5159にて受付。

第3土曜日はクラフトDAY

14 木の実マグネット

植物を使って工作しよう！
日時：2/15(土) 10:00~12:00、13:30~15:30
会場：筑波実験植物園
定員(対象)：小学生以上(小学生は保護者同伴)
申込：当日ご参加ください。

植物園研究最前線

15 ランは木に登る

ラン科の4分の3の種は樹上で暮らします。もとは地上に生えていたランの祖先が、なぜ木の上というフロンティアに進出したのでしょうか？最新の研究をご紹介します。
日時：3/16(日)13:30~15:00
会場：筑波実験植物園
講師：遊川 知久
定員(対象)：28名(高校生以上)
申込：1か月前から029-851-5159にて受付。

16 ランと菌の共生はどのようにおこるのか

スズムシソウを例に
ランが発芽・成長するには菌が欠かせません。どんなふうに菌と共生しているのでしょうか？スズムシソウを例に成立する仕組みにせまる研究をご紹介します。
日時：3/20(木・祝)13:30~15:00
会場：筑波実験植物園
講師：堤 千絵
定員(対象)：28名(高校生以上)
申込：1か月前から029-851-5159にて受付。

自然教育園で行うイベント

日曜観覧会

17 冬を越す虫たち

職員と一緒に園内を回ります。
日時：2/2(日)10:30~11:30
会場：自然教育園
講師：自然教育園 遠藤 拓洋
定員(対象)：15名(小学生以上)
申込：10日前からWEBにて受付。

日曜観覧会

18 春の植物に会いに行こう！

職員と一緒に園内を回ります。
日時：3/30(日)10:30~11:30
会場：自然教育園
講師：自然教育園 下田 彰子
定員(対象)：15名(小学生以上)
申込：10日前からWEBにて受付。

やさしい生態学講座

19 やさしい生態学講座(全6講座)

身近な自然の生態的な見方について、講座を通して深めます。
日時：2/19(水)~24(月・休) 各回13:30~15:00
会場：自然教育園
講師：①2/19(水) 千葉大学大学院 准教授 深野 祐也

今号の表紙：「遠眼鏡」

望遠鏡は、その発明(1608年)からわずか5年後に日本に入ってきました。日本では屈折望遠鏡を遠眼鏡とよび、渋川春海も望遠鏡を用いて、銀河が微光の星の集まりであることを確認していますが、本格的に天文観測に用いられ始めたのは、18世紀末の寛政改暦のころからで、象限儀や子午儀に取り付けて使われました。江戸時代初期には軍事に役立つことから一般の製作・販売は禁止されましたが、中期以降は一般の製作者も現れ、幕府天文方も天体観測に使用し、幕末には個人の趣味として観測を行う人々もいました。展示ケース内には実際に覗ける遠眼鏡も展示していますので、この機会にぜひ覗いてみてはいかがでしょうか。いつもとは違った目線である展示物が見えるかもしれません。



国立科学博物館 公式SNSはこちら
QR codes for X (Twitter), facebook, Instagram, and YouTube.

このマークがあるイベントは、お申し込みが必要です。所定の方法にしたがって、参加ご希望の方はお申し込みください。

データ無料配布
国立科学博物館 2025年 オリジナルカレンダー
スマートフォン壁紙用 印刷用
2025年オリジナルカレンダーをデータにてダウンロードいただけます。

ダウンロードはこちら
https://www.kahaku.go.jp/news/2025/calendar/